

(別添資料1)

事業所名

クオリティ・オブ・ライフ我孫子支援教室

支援プログラム

作成日

令和7年3月10日

法人（事業所）理念		利用者様の「生活の質の向上」を目指すと共に利用者に関わる周りの方の幸せ、向上をモットーに1人ひとりに寄り添った支援が提供できるように日々努めてまいります。。障害の有無に関わらず、全ての方が活躍できる「ノーマライゼーション社会の実現」という信念をもって、社会福祉サービスを提供しています。											
支援方針		利用者様に関わらず、利用者様に関わる方、職員一同の「生活の質が向上」するように支援を行っています。利用者様、保護者様に寄り添った「目配り・気配り・心配り」を大切にした関わりが提供できるように日々努めていきます。ダンスやリズムアンドジャンプも取り入れ個々の自由や個々の表現を大切にし、ノーマライゼーションの実現を目指しています。個々の特性に合わせた個別学習をはじめ集団療育活動としてSST・粗大運動・微細運動・英語など様々な分野を通して「出来る事」や「強み」を増やし、自らの将来の可能性を広げ、社会と共に生きる「力」を養えるよう支援していく。											
営業時間		平日 土曜・長期休暇		10 9時00分		19 18時00分		まで		送迎実施の有無		ありなし	
		支援内容											
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣を身に付けるため一日のスケジュールを設定し、登所後の生活習慣（手洗い、うがいなど、準備、片付けなど）の絵カード等を用いて順序だてて見直しをもって安心して過ごしてもらえるような環境づくりを提供していく。また日常生活において、SSTを通してマナー・モラル・ルールを学び自らの行動を考える事と他者との思考の相違を学び楽しくコミュニケーションをとりながら生活できるよう支援していくプログラムを設定します。											
	運動・感覚	集団療育活動の中の粗大運動（ダンス、リズムアンドジャンプ等）、微細運動を通して手指を使った運動や体全体を使った運動を通して自分の体を意識して「動かす感覚」を養える事が出来るよう支援していきます。運動・感覚が苦手な利用者様に対しては指導員がついて声掛けをし、一緒にやることで体を動かす感覚を身に付けられるよう支援していきます。運動・感覚を養い1つでも多く達成感が得られ次回も挑戦出来るように支援をしていくプログラムを設定します。											
	認知・行動	各個別課題（数・図形・時間等の概念ほか、四則計算・方程式・文法等学校の進度に合せた単元）を通してそれぞれのレベルに合せながら自らが苦手と感じている課題に対して積極的に取り組む事を目指していき一つでも多く理解出来るよう支援していくプログラムを設定します。											
	言語コミュニケーション	SST及び集団療育活動を通してのコミュニケーション言語による表現の取り組み、言語（文字の読み書きをはじめ、名詞・動詞・形容詞・助詞など）の指示理解及び学校の進度に合せた学習課題の取り組みに関するプログラムを設定します。											
	人間関係社会性	SST、集団療育活動及び自由活動を通して集団スキル・社会的スキル・をコミュニケーション能力の向上に関するプログラムの設定。											
家族支援		○個別支援計画での実施及び面談での実施 ①【見立て】児童の発達/特性に関する状況・成果/相談・助言等 ②【計画】目標設定に関する意図・相談・助言等 ③【手立て】プログラム内容・意図・成果/相談・助言等 ④【実行】補助・手法に関する相談・助言等 観察の機会提供や①から④などの個々の子どもに関する事項、支援内容と意図に関する説明/相談/助言などを実施 ○家族のニーズに合わせて相談援助を事業所内・送迎時での対面に実施 ①(児童発達に関するもの②支援内容に関するもの③家庭生活に関すること④集団生活に関するもの⑤さようだい児に関するもの⑥制度に関するもの) 観察の機会提供や①から⑥などの個々の子どもに関する事項、支援内容と意図に関する説明/相談/助言などを実施				移行支援		インクルージョン（共生）に向けた取組の推進 ①事業所訓練室において支援し、習得した行動を学校、家庭など様々な状況や場面でも同様に活用できるようになることを目指した支援を行います。 (1) 訓練した場面でないところでも適切な行動ができる。(2) 練習と違った指示でも適切な行動を引き出せる(3) 自らが考え、適切な行動をし続けられる。 ②インクルージョンの観点から個々の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加できるよう、関連機関との連携を強化し、社会全体の様々な機能を活用して、十分な教育が受けられるよう、特性のある児童・生徒の教育の充実を図るために個別及び集団活動の支援を行う。 ③学校などへの訪問や受入れの際に行った面談及び会議等を通じて、児童・生徒の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施。 ④進路（就労・中学及び高校受験対策）に向けての情報収集及び対策の実施					
地域支援・地域連携		自治体の研修や講習、連絡会に積極的に参加し、更に学校・相談支援事業所との連絡を密にとり利用者の状況を常に把握し全体で共有できるようにします。 ①千葉県による研修（集団指導への参加、法令改正にともなう研修・虐待研修他） ②担当者会議参加（必要に応じて） ③モニタリングによる相談支援委員との面談				職員の質の向上		本部の研修及び事業所内研修に参加し、自治体からの研修にも積極的に参加していきます。また必要に応じて外部の研修にも参加し職員の意識の向上、スキルアップを目指していきます。。 管理者・児童発達管理責任者向け研修 ①リーダーの役割の確認『チームを介して成果につなげる』⇒（人を早く育て、動かす・適切に判断し、成果を生む・効果的にコミュニケーションする） ②【指示型】【コーチ型】【援助型】【委任型】の4つのリーダーシップ（SL理論）を使い分ける ③モチベーションに応じてコミュニケーションのアプローチを変える【コーチング】【カウンセリング】の理解とロールプレイ ④ディスカッション 育成者向け研修 ①育成者に期待されている役割（職務責任）を理解する②コミュニケーションの基本について学ぶ ③効果的なフィードバックについて学ぶ④育成に關しての基本的な知識と実践を身に着ける ⑤他者との交流。悩みや成功体験の共有 新卒・中途入社研修 ①ビジネスマナー・コミュニケーション研修②制度に関する研修③療育に関する研修 従業者向け研修 ①虐待防止（身体拘束）に関する研修②事故防止に関する研修③感染症に関する研修④防犯に関する研修⑤災害（BCP）に関する研修 職員の質の向上のための社内ツール ①管理者・児童発達支援管理責任者の手引きを自社で作成 ②社内研修用専用マニュアル作成 ③教室内ヒヤリハットノート（青・黄・赤付箋用）事業所内作成 ④教室内自主学習用プリント作成					
主な行事等		①SSTに関するイベント（オリエンテーリング・避難訓練・アサーション・など） ②季節に関するイベント（初詣・節分・夏祭り・ハロウィンパーティー・クリスマスパーティーなど） ③工作に関するイベント（紙皿などを使った食育に関わる工作、ペットボトルを使った音楽に関わる工作など） ④運動に関するイベント（公園あそび・リズムアンドジャンプ、ダンスイベントの開催・ストラックアウト他） ⑤音楽に関するイベント（音当てゲーム・体操・キーボードを用いた発語促進など） ⑥課外活動（遠足・工場見学、買い物訓練等）											